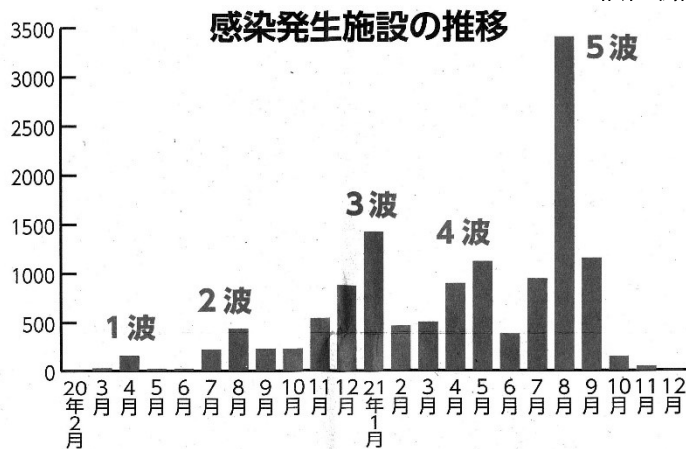


新型コロナウイルス感染

前年比3.8倍に



感染施設の内訳

種別	20年		21年		累計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
保育所・こども園	911	33%	5090	48%	6001	45%
その他児童施設	103	4%	759	7%	862	6%
老人入所施設	794	29%	1976	19%	2770	21%
老人通所施設	576	21%	1432	14%	2008	15%
その他老人施設	192	7%	515	5%	707	5%
障害者入所施設	64	2%	122	1%	186	1%
障害者通所施設	105	4%	515	5%	620	5%
その他	34	1%	91	1%	125	1%
計	2779		10500		13279	

21年は、昨年末から続く第3波のピークの中で始まった。冬季で窓開けなどの感染予防対策が十分でなかったこともあり、1月は高齢者施設を中心に月間最多の1429カ所で感染が発生。クラスター（感染者集団）発生率も34%で第2波の2倍だった。

第3波は、2回目の緊急事態宣言の効果もあって、3月上旬に収束したが、高齢者施設でワクチン接種が始まった4月中旬には第4

2021年（12月21日まで）に新型コロナウイルス感染が発生した福祉施設（本紙まとめ）は、20年比3.8倍増の1万500カ所で、罹患者は利用者・職員4万6741人に及んだ。1～2月に第3波、4～5月に第4波、7～9月に第5波が起き、子育て支援施設での感染が急増した。（井口拓治）

波が発生。5月には1月に次いで多い1117カ所で感染が起きた。第4波は、3回目の緊急事態宣言と高齢者施設へのワクチン接種が進んだことで6月上旬にいったん収束した。しかし、6月末には感染力が強いデルタ株による第5波が発生。8月の発生施設は最多の3405カ所に及んだ。第5波では、保育所・認定こども園など子育て支援施設での発生が拡大した。種別ごとの発生割合を見ると、20年は▽高齢者施設50%▽保育所・こども園33%▽児童養育等児童施設4%だったが、第5波では▽高齢者施設14%▽保育所・こども園65%▽児童養育等児童施設11%と、子育て支援施設が4分の3以上になった。21年全体でも子育て支援施設は5割以上を占める（表参照）。

要因には、高齢者施設へのワクチン接種が進む一方で、子育て支援施設の職員や利用児の親の接種が進まなかったこと、夏休みで学童保育や障害児放課後デイサービス等の長時間利用が増え、密状態になったことがある。実際、職員や親のワクチン接種が進み、学校が再開された9月以降は発生が急減。11月は1年5カ月ぶりに50カ所を下回った。クラスターの発生状況も20年と変わった。21年は2750カ所

（発生率26%）で起きたが、1～3週間かけ徐々に感染者が増えた20年と違い、翌日に10人以上の集団感染が確認されるケースが増えた。発生直後に全利用者・職員へのPCR検査を行うようになったため、施設は突発的な大量感染に備えた対応が求められることになった。

福祉施設の感染は12月になっても下げ止まり状態にある。ただ、ワクチンを2回接種しても感染する「ブレークスルー感染」や、オミクロン株による世界規模での感染拡大が起きており、依然として気の抜けない状況が続いている。

新型コロナウイルス感染症の発生福祉施設（本紙まとめ）が、21日までに累計1万3279カ所になった。12月に入ってから18カ所で発生している。1週間当たりの感染発生施設数は▽11月第4週8カ所▽12月第1週5カ所▽第2週4カ所▽第3週9カ所。4週連続で一桁台になるの

発生施設4週連続一桁

累計1万3279カ所

12月の感染施設を種別で見ると、▽高齢者施設9カ所▽保育所・こども園8カ所▽児童養育等児童施設1カ所。クラスター（感染者集団）は、保育所・こども園3カ所、高齢者施設4カ所で起きている。（井口拓治）